

World Diabetes Day～ワールド ダイアベティス デイ～
(旧 世界糖尿病デー) 院内イベントのお知らせ

当院では、患者さんや地域の皆様に糖尿病について正しく知っていただくために、毎年 11 月 14 日のワールドダイアベティスデー(旧 世界糖尿病デー)に合わせて、病院 1 階ロビーと2階内科外来で広報活動を行っています。例年は看護師、臨床検査技師が中心で当活動を行っていましたが、今年度は薬剤師、理学療法士、管理栄養士も加わることで、より幅広い情報をお届けできました。糖尿病について興味のある方は、主治医または内科外来看護師にお声かけください。

また当委員会では、糖尿病に限らず生活習慣病全般の予防を目的としたミニ講座を下記のとおり開催予定です。お気軽にご参加ください。



〔生活習慣病ミニ講座〕

日時 2026 年 1 月 20 日(火) 11:00 ～ 11:40
場所 1 階 待合
会費 無料
内容

- ・ 今日から始める運動習慣(理学療法士)
- ・ 適切なお菓子の食べ方(管理栄養士)
- ・ 災害時の備えについて(薬剤師)



糖尿病教室運営委員会 栄養室 管理栄養士 瀬尾 洋介
リハビリテーション科 理学療法士 才野瀬 可奈

🌸🌸🌸 編集後記 🌸🌸🌸

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、令和8年の干支は、「丙午(ひのえうま)」です。丙午は 60 年に一度巡ってくる干支で、「情熱」「行動力」「躍進」といった非常に強いエネルギーを象徴する年とされています。この力強い運氣にあやかり、当院も地域医療に対する情熱を燃やし、新たな一步を踏み出す決意を固めております。医療環境が絶えず変化する中でも、皆様との信頼の絆を何よりも大切に、地域の中核病院としての責務を全うしてまいります。

本年も職員一同、この丙午のエネルギーをもって一丸となり邁進してまいりたいと思います。皆様のこの一年のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

看護部長 胡 美恵



県立安芸津病院広報誌

監修 広報・患者サービス向上委員会
発行 県立安芸津病院
広島県東広島市安芸津町三津 4388
TEL: 0846-45-0055

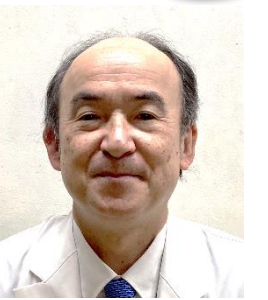
四季だより

冬号 2026 年 1 月 (第 101 号)

病院理念 私たちは地域の皆様の健康と暮らしを支えるために力を尽くします



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか? 安芸津病院は昨年、MRI が導入され、骨・関節領域では、より早期の確定診断が可能となりました。これまで他病院に出向いて頂かねばならなかった検査が、安芸津病院で可能となったことで、少しでも患者様の時間的・肉体的負担の軽減につなげることができれば幸いです。



この度、広島県の公式チャンネル「ひろしまラボ」で安芸津病院の膝関節治療について取り上げていただきました。是非一度ご覧になってください。昨年、広島県における病院事業は地方独立行政法人へと移管し、県立広島病院、県立二葉の里病院、県立安芸津病院の3病院体制となりましたが、安芸津病院の耐震化計画は、しっかりと継承され、令和 11 年の新病院完成に向け、粛々と準備を進めております。皆様の御期待にお応えできるような、よりよい病院の完成を目指しております! 一方で病院経営に関しましては、全国の自治

体病院の 80% が赤字という厳しい現実があります。安芸津病院も例外ではありません。建築資材の高騰、周辺人口の減少に伴う患者数減少などから、新病院は 98 床から 60 床へと規模が縮小されます。現在および未来の安芸津病院がよりよい病院に昇華するには皆様の御協力が不可欠です。今後も健康診断・骨粗鬆症予防・糖尿病予防などの予防医療、疾患治療およびアフターケアに是非とも安芸津病院を御活用頂きますようお願い申し上げます。



院長 後藤 俊彦

🍡🍡🍡 第 39 回医療公開講座のお知らせ 🍡🍡🍡

日時: 令和 8 年 3 月 14 日(土) 9:30 ～ 12:00 (受付開始 9:00)
場所: 安芸津生涯学習センター(あきつ万葉ホール)
内容: 「老化と慢性炎症～サルコペニアと慢性疼痛～」 院長 後藤 俊彦
「認知症について知っていますか? ～住み慣れた地域で生活するために～」

認知症看護認定看護師 政森 貴裕

その他、院長を含めた職員によるバンド演奏・転倒なし体操も行う予定です。

※ 詳細につきましては、院内ポスター、チラシ、ホームページ等でお知らせします。



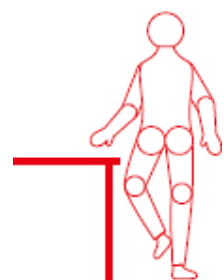
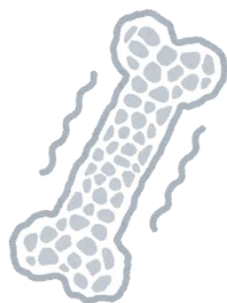
骨の健康は動くことから ～理学療法士が考える骨粗鬆症予防～

「骨粗鬆症」という病気をご存じでしょうか？骨の中がスカスカになり、ちょっとした転倒でも骨折しやすくなる病気です。近年、骨粗鬆症患者は増加傾向にあり、日本では 10 人に 1 人が骨粗鬆症を患っていると言われています。特に高齢者の「骨折による転倒」が原因で骨粗鬆症が判明する事が多く、転倒の予防が非常に重要となります。今回は、骨粗鬆症に対する運動について説明をさせていただきます。

そもそも骨を強く保つ為には、「栄養」「運動」「活動」の 3 つが重要となります。全て大切なことですが、その中でも骨を強く保つ為に欠かせないのが「運動」です。骨は年齢に関係なく、刺激を与えることで強くなると言われています。急に激しい運動をする必要はありません。1 日 20 分程度のウォーキングを続けるだけでも構いません。無理のない範囲で、毎日の中に“動く時間”を取り入れてみてはいかがでしょうか？

骨と同様、筋肉に関しても年齢関係なく鍛えることが可能です。筋肉を鍛えることで転倒を予防することに繋がります。①片脚立ち②スクワット③カーフレイズ(踵あげ)は、お家でも簡単に取り組める効果的な運動です。注意点として無理せず実施する事です。骨や筋肉に適度な刺激を与えて、骨と筋肉を育てる生活を始めてみましょう。

骨粗鬆症リエゾンチーム・リハビリテーション科 理学療法士 川崎 翼



① 片足立ち



②スクワット



③ カーフレイズ(踵上げ)

引用元：日本整形外科学会ロコモティブシンドローム

予防啓発公式サイト ロコモ ONELINE (<https://locomo-joa.jp/check/locotre>)

院外処方せんのFAXについて

院外薬局で、薬の受け取りの待ち時間が長いとのご意見を頂いております。

かかりつけの薬局に、事前に院外処方せんを FAX することで、待ち時間を短縮する事が可能になります。

指定した薬局へ、処方日を含めて 4 日以内に送信した処方せんを持って、お薬を受け取りに行ってください。

ただし、まれに薬の内容の問題、時間的な問題等により、すぐにお薬が揃っていないケースもございますので、ご了承ください。

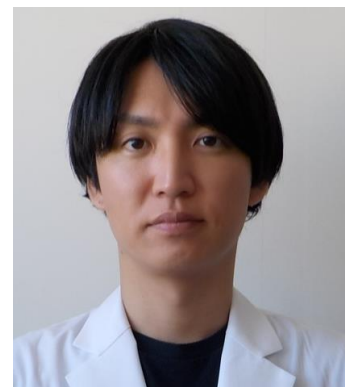
院内コンビニのマルチコピー機にて、近隣薬局の FAX 番号を

掲示しておりますので、必要の際はご利用ください。

薬剤科 薬剤師 西 勇治



新入職者紹介



清水 大輔

2025 年 9 月より県立安芸津病院に赴任いたしました清水大輔と申します。東広島市出身で、広島大学医学部卒業後、東広島医療センター、広島市民病院、広島大学病院などで勤務しておりました。数年前に当院で非常勤勤務をさせていただいておりましたが、この度ご縁があり常勤医師として勤務させていただくこととなりました。消化器内科分野を中心に、内科全般の診療に携わり、地域医療に貢献できるよう精進致します。よろしくお願いいたします。



野村 翔也

10 月より整形外科配属になりました野村翔也と申します。山口大学を卒業し、呉共済病院で 2 年間初期研修を積んだ後、整形外科医として松山赤十字病院で 2 年間、今年度は 4 月から半年間広島大学病院で勤務しておりました。将来的には下肢分野を専門としたいと考えております。地域で完結できる整形外科診療を目指し、小児から高齢者まで、一般外傷に加え、慢性疾患も幅広く診させていただきます。精一杯務めますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



築地 健太

4 月に広島病院より着任しました築地（つじ）と申します。広島病院では手術室・精神科・感染症（コロナ）・呼吸器病棟を経験してまいりました。

着任早々ではございますが私自身も最近まで入院しておりました。その経験を活かし入院されている患者様の気持ちに寄り添い、安楽に治療に専念していただけるよう努めて参りたいと思います。これからよろしくお願いいたします。



秋山 京洋

このたび会計年度雇用職員として採用されました秋山です。現在は 4F 病棟で夜勤専従として働いています。日中はいないので、お会いできる機会は少ないと思いますが、見かけた際は気軽に声をかけていただけると嬉しいです。

スタッフや患者様との一期一会のご縁を大切にしていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

